

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	DIC株式会社	事業所名	埼玉工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	貨物輸送事業者から「輸送調査集計結果」で報告を受け、燃費法・燃料法・トンキロ法により二酸化炭素排出量を把握する。適宜行われる本社間会議で環境負荷低減活動報告を受け、進捗確認及び課題の抽出を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	物流会議を通して情報を共有し、配送効率化等に向けて取り組んでいる			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託先選定時にISO14001取得、グリーン経営認証等の取得を選定基準のひとつとしており、それらの取得を推奨する			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	日立物流ファインネクスト(株)首都圏ケミカルセンターを利用した往復便活用で運行車両台数を削減する			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送単位が小さい場合は路線便(混載便)を利用する。また一部地域向けで群馬と共同輸配送を行う。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	輸送量(積載重量・パレットサイズ等)に応じて軽貨物・2t車・4t車・大型車から適正車両を配車する			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>出荷前日16時までに営業Gから日立物流ファインネクスト(株)への出荷データが反映されるようルール化し厳守する</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()</p>	<p>外部倉庫の集約を実施し、輸送距離・輸送回数を削減する</p>	○	-	-
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>貨物輸送事業者から「トラック保有状況等内訳表」を入手し、保有車両数、今後の車両入替予定等を確認する</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入門許可書の禁止事項にアイドリングを記載し注意喚起している。(守衛所にて対応) ・積載車両へのデジタコ搭載推進 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>ドラレコの運行データで「速度・急加速・急減速・アイドリング等」運行状況を定期的に確認する。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>「アイドリング禁止」の看板を適所に設置し、アイドリング防止を推進している</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()</p>	<p>物流部門を日立物流ファインネクスト株式会社に委託している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	令和3年よりモーダルシフトによる輸送を推進する予定(関東⇒四国)	○	○	○
----------------------------------	----------------------------------	---	---	---

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	DIC株式会社		事業所名	埼玉工場		
取組措置	具体的取組措置			R3	R4	R5
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	自転車を利用する場合、保険金額が1億円以上の個人賠償保険に加入することを許可条件とする。			○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	場内従業員駐輪場の適切な管理を維持する。			○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (04) テレワーク制度の導入	テレワーク制度を平成30年に導入、新型コロナ感染防止策として、生産部門(人員比率40%)以外の技術部門および補管部門(60%)でのテレワーク強化している。			○	○	○
05 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発	研修を実施する。			○	○	○
05 エコドライブの推進 (02) エコドライブ研修の実施	自動車通勤者の安全運転講習にエコ関連項目を入れる。			○	○	○